

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：前佛 和秀

事業名	地域高規格道路 鳥取豊岡宮津自動車道 一般国道 178号 浜坂道路Ⅱ期		事業区分	一般国道	事業主体	兵庫県
起終点	自：兵庫県美方郡新温泉町柘谷 至：兵庫県美方郡新温泉町居組		延長	7.6km		
事業概要						
<p>鳥取豊岡宮津自動車道（通称：山陰近畿自動車道）は、鳥取県鳥取市～京都府宮津市を結び、鳥取東部、但馬、京都北部の各地方生活圏を連絡し、地域の交流・連携の促進と安全・安心の向上を図る延長約120kmの地域高規格道路である。</p> <p>兵庫県においては、基幹道路八連携軸の日本海沿岸軸として環日本海地域の交流を強化し、広域高規格道路のネットワークを形成する路線として位置づけられている。</p> <p>一般国道178号浜坂道路Ⅱ期は、鳥取豊岡宮津自動車道の一部として計画されており、新温泉浜坂ICと居組ICを結ぶ延長7.6kmの路線である。</p>						
H30年度事業化		—		R1年度用地着手		R1年度工事着手
全体事業費		465億円		事業進捗率		約14%
計画交通量		8,680台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	1.1		総費用 (残事業)/ (事業全体)	353/383億円	
	(残事業)	1.2		事業費：346/376億円 維持管理費：7.0/7.0億円	総便益 (残事業)/ (事業全体)	421/421億円
				走行時間短縮便益：347/347億円 走行経費減少便益：60/60億円 交通事故減少便益：14/14億円	基準年：令和2年	
感度分析の結果						
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.0～1.3(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.0～1.3(交通量±10%)          事業費：B/C=1.0～1.2(事業費±10%) 事業費：B/C=1.1～1.3(事業費±10%)          事業期間：B/C=1.0～1.2(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.1～1.3(事業期間±20%)</p>						
事業の効果等						
<p>①地域防災の支援 異常気象時通行規制区間や浸水想定区域を回避し、第一次緊急輸送道路の機能を強化</p> <p>②広域観光交流圏の拡充・強化 兵庫県北西部・鳥取県東部における観光地間の周遊性の向上</p> <p>③地域医療の支援 第三次救急医療機関（鳥取県立中央病院）へのアクセス向上</p> <p>④地域間連携の支援 兵庫県北西部と鳥取県東部の時間距離短縮による交流・連携の促進</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>・京都府知事、兵庫県知事、鳥取県知事により構成する「山陰近畿自動車道整備推進協議会」、豊岡市長、養父市長、朝来市長、香美町長、新温泉町長により構成する「但馬・地域高規格道路推進協議会」が、毎年早期整備の要望書提出や決起大会を開催されるなど地元の期待が大きく、浜坂道路Ⅱ期の早期整備が期待されている。</p>						
事業評価監視委員会の意見						
「事業継続」することは「妥当」である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
兵庫県ズワイガニの出荷量がH29→H30で約1.1倍増加						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率 約99%、事業進捗率 約14%						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
残る用地の取得を継続し、引き続き、早期開通に向けて事業を進める。						
施設の構造や工法の変更等						
トンネル延長の見直しやトンネル残土の盛土材への有効利用により、着実なコスト削減に努める。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
費用対効果も見込まれ、緊急輸送道路の機能強化、観光地間の周遊性の向上、第三次救急医療機関への						

アクセス向上が図られるなど、当該事業の必要性、効果は高いため。

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。